

平成23年度『心臓血管外科』 新規開設に向けて準備始まる。

城間副院長より巻頭言でもコメントがありましたが、この度、豊見城中央病院においても待望の心臓血管外科を開設することになりました。今後より一層、地域の皆様の安全と安心の医療提供を行い、地域医療に貢献する医療施設として努めていきたいと考えております。

また、今回の開設には全国的にも高い手術成績を誇る樋上哲哉教授(札幌医科大学附属病院)の支援を頂きながら、優秀な先生方を招聘し、万全な医療体制の整備に関係スタッフ一丸となって準備を進めております。

4月下旬の診療開始に向けていよいよ準備も最終段階を迎えておりますが、最後まで関係スタッフが一致団結して、県民の皆様に安心した医療が提供できるよう関係各位のご支援とご協力を賜りながら準備していきたいと考えております。本号におきましては準備段階という事でプロジェクト立ち上げから、現在に至るまで下記にご案内致します。



樋上哲哉教授(左)と城間副院長(右)

心臓血管外科開設に向けて ～プロジェクト始動から現在まで～

- 1.平成22年度の事業計画として「心臓血管外科開設」が立案され、方針が決定された。
- 2.平成22年度 下半期より心臓血管外科開設プロジェクトメンバー約12名が選出され、本格的な準備がスタートした。

3.札幌医科大学附属病院へ心臓血管外科診療の視察。手稲溪仁会病院救命救急センター・ICU視察。

・心臓血管外科開設プロジェクトメンバーにて、札幌医科大学附属病院 第二外科(心臓血管外科)樋上哲哉教授の協力のもと、病院視察を実施した。



手術状況の視察



術後の処置(ICU)



ICU 設備の視察



手術場の全景



ICU 医療機器の視察



手稲溪仁会病院への
設備の視察



プロジェクトメンバーと受け入れ先との
情報交流

- 4.札幌医科大学附属病院、南部医療センターへのスタッフ研修開始。
- 5.医療機器、設備の選定作業及び調達を開始。(人工心肺装置、3D 経食エコー他各種機器導入)

6.モニタリングシステム導入検討会議及び、機種選考会の実施

・豊見城中央病院では、年々増加傾向にある手術及び重症患者の看護と、この度の心臓血管外科開設を機に医療機器、設備工事、ネットワーク関連と様々なハード面の強化を図っておりますが、安全面の強化と運用効率の改善など更なる医療の質の向上を図り「手術・ICU 部門モニタリング」の導入検討が行われました。

高額の設備投資となりますが、年間5千件を超える数多くの手術を実施しており、更なる質の向上には、情報の一元化と運用効率の改善が不可欠であるとし、「手術・ICU 部門モニタリングシステム」導入が決定されました。機種選定には、プロジェクトメンバーを中心に関係部門の責任者を加えたメンバーで構成された選考会を開催し、各メーカーのプレゼン、実績の確認、デモ機確認が行われた。

また、南部医療センター及び中頭病院の協力をいただき、各施設に出向いてシステム見学とヒアリングを実施し、最終的な機種選定評価が行われた。



2011/02/17 14

7.手術室、ICUの改修工事。(手術画像システム導入、患者監視モニター設置)

8.札幌医科大学附属病院より樋上哲哉教授をお招きし講演会を開催。

テーマ「心臓血管外科治療の最前線～札幌医大での現状と沖縄での展望～」

・早朝にも関わらず200名以上のスタッフが参加し、心臓血管外科最前線の知識・教養を高めた。



9.勉強会・研修会・プロジェクト会議の実施

・早朝や診療後1月～3月にかけて、循環器内科の玉城副部長、札幌医科大学附属病院の樋上哲哉教授、山内昭彦医師等に講師を依頼し勉強会・研修会を実施した。又、情報共有と関係部門への周知のため、プロジェクト会議及び各種ミーティングが、毎週数回に渡り行われた。



10. 4月下旬より診療開始予定(※現在調整中)

・現在機器・設備の整備及び運用体制などの最終チェックが行われており、万全の医療体制が整い次第4月下旬頃の診療開始を目指して着々と準備が進められている。

【心臓血管外科 新任医師の紹介】

●山内 昭彦先生



前勤務先：札幌医科大学附属病院 第二外科
専門分野：心臓血管外科
学会認定：日本外科学会専門医
日本心臓血管外科学会専門医
日本脈管学会専門医

●橋本 誠先生



所属病院：札幌医科大学附属病院
前勤務先：北海道立北見病院